日本社会教育学会

第 68 回研究大会プログラム

JAPAN SOCIETY for the STUDY of ADULT and COMMUNITY EDUCATION : the 68th Annual Conference

日　時　2021 年 9 月 10 日（金）～ 12 日（日）
オンライン（ZOOM）開催
運営校：明治大学

9月 10日 金	10：00 ～ 12：10 自由研究発表 1・2・3・4・5	13：00 ～ 15：30 プロジェクト研究 「社会教育士養成の可能性と課題」 「障害をめぐる社会教育・生涯学習」	16：00 ～ 17：30 倫理研修
11日 土	10：00 ～ 12：10 自由研究発表 6・7・8・9・10	13：00 ～ 15：00 70 周年準備企画	15：30 ～ 18：00 運営校企画 「社会教育実習の学び ―明治大学の実践から―」
12日 日	10：00 ～ 12：10 自由研究発表 11・12・13・14・15	13：00 ～ 15：00 プロジェクト研究 「高齢社会と社会教育」 「SDGsと社会教育・生涯学習」	16：00 ～ 18：00 ラウンドテーブル ①～⑦

当日の参加受付はありません

事前参加申込みシステム受付期間：8 月 1 日（日）～ 8 月 30 日（月）

※事前参加申し込み方法は 2 ページ参照のこと。

＊参加費（事前振込）：一般・非会員大学院生 1，500 円 ／会員大学院生 1，000 円
大学学部生は無料（但し、学生証提示のこと）

＊自由研究発表者は、当日資料を下記受付期間内に＜発表資料投稿システム＞にご提出ください。
→受付期間：7 月 20 日（火）～ 8 月 31 日（火）

＊全国理事会は 9 月 18 日（土）18 時から、総会は 9 月 25 日（土）13 時からで、どちらもオンラインでの開催を予定しています。

＊若手支援企画としてオンライン座談会「自由研究発表をふりかえって」を 9 月 14 日（火）20 時から開催します。詳細は通信 231 号 5 頁をご確認ください。

【　目　次　】

◇第 68 回研究大会・事前参加申込について …… 2頁
◇オンライン開催にあたっての注意事項 …… 3頁
◇第 1 日目（9 月 12 日）プログラム
自由研究発表 1･2･3･4･5 …… 4～6 頁
プロジェクト研究「社会教育士養成の可能性と課題」「障害をめぐる社会教育・生涯学習」 …… 6～7 頁
倫理研修 …… 7頁
◇第 2 日目（9 月 13 日）プログラム
自由研究発表 6･7･8･9･10 …… 8～10 頁
70 周年準備企画 …… 10 頁
運営校企画「社会教育実習の学び　―明治大学の実践から―」 …… 11 頁
◇第 3 日目（9 月 14 日）プログラム
自由研究発表 11･12･13･14･15 …… 12～14 頁
プロジェクト研究「高齢社会と社会教育」「SDGs と社会教育・生涯学習」 …… 15 頁
ラウンドテーブル①～⑦ …… 16～17 頁

■事前参加申込について

今回の大会はオンライン開催につき、参加受付は事前申込みのみとさせていただきます。

参加希望の方は、学会ホームページよりオンライン参加登録手続きを行っていただきます（オンラインで手続きが出来ない場合は、事務局までご連絡いただければ手続きいたします）。

なお、今回オンラインでの開催ということで、様々な対応を学会ＨＰ（一斉メール）にて通知いたしますので、メールアドレスの登録・確認をお忘れなきようお願いいたします。

当日の ZOOM の URL・要旨集等については９月８日（水）までにメールでご案内いたします。大会前日になってもご案内が届かない場合は事務局までお知らせください。

※準備の都合上、お申込み後のキャンセルはご遠慮ください。オンラインでの開催となり、運営校も不慣れでご迷惑・ご不便ををおかけすることをご理解いただき、円滑な集会運営にご協力いただければ幸いです。

◆オンライン事前参加申込受付：8月1日（日）～8月30日（月）

学会ＨＰのトップ画面にある＜研究大会参加申込システム＞から参加登録をしてください。当日受付はございませんので、必ず事前申込をお願いいたします。

会員の方は、申し込みの際には会員 ID（ログイン ID）を必ず記入し、所属は学会に登録してある所属先を記入してください。

非会員の学部生は、学生証を添付の上、参加費無料になります。

◆参加費の支払い：事前振込

※こちらで入金の確認が出来ない場合は参加申込みを受付出来ない場合があることご了承ください。

＜振込先＞　ゆうちょ銀行　振替口座 00150-1-87773

他金融機関からの振込用口座番号　〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）当座 0087773

口座名：日本社会教育学会

振込金額：　会　員　一般￥1,500 ／大学院生￥1,000

非会員　一般￥1,500 ／大学院生￥1,500

振込みの際には、必ず氏名（所属）をご記入ください。

※参加費の振込のみ、または参加申込みのみだけでは参加受付とはなりませんのでご注意ください。

■オンライン開催にあたっての注意事項

・本大会では、すでに多くの大学等での実績があるオンライン会議システム「Zoom」を使用します。
・オンライン会議室では最大接続数があり、これを越えると入室することはできません。あらかじめご了承ください。また、多くの皆様に参加していただくため、1 人の方が複数の端末を使って複数の発表に同時にアクセスすることはご遠慮ください。
・基本的に、録画による受信映像や画面共有資料の保存（画面キャプチャーを含む）、録音、再配布を禁止します。ただし、発表者や主催者の許可があった場合はその限りではありません。
・チャット機能を使用して当日に資料を配付することがありますが、配布後に参加した場合はその資料をダウンロードできないことがあります。
・無用な音声の流入・ハウリングや、不安定なネットワークからの接続などによりセッションの進行に支障があると判断される場合には、ホスト側によりミュート操作を行ったり、接続を切断したりする可能性があります。
・その他、進行にあたっては司会者・ホストの指示に従っていただけますようお願いいたします。

■大会へのお問合せ・ご連絡先

◆日本社会教育学会事務局

E-Mail：jssace.office@gmail.com
〒 183-8509　東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学農学部環境教育学研究室内
https://www.jssace.jp/

◆大会当日の連絡先

担当：平川景子（明治大学）090-4007-9369

第1日目　9月10日（金）

自由研究発表 1・2・3・4・5

10：00 ～ 12：10（共同研究者は○印が登壇者）

第1室　原理論・歴史／歴史

司　会　　上原　直人（名古屋工業大学）

10：00 ～ 10：20　教育学研究における「労働者」概念の意味と射程
奥村　旅人（びわこ成蹊スポーツ大学）

10：20 ～ 10：40　「成人式」の歴史と課題
田中　治彦（上智大学）

10：40 ～ 11：20　高度経済成長期社会教育史研究（3）
―東京都国立市公民館報に見る地域変貌と住民の学習―
○二村　玲衣（名古屋大学大学院）、○辻　浩（名古屋大学）
○河野　明日香（名古屋大学）、○徐真真（名古屋大学大学院）
大村　隆史（香川大学）、王倩然（北海道大学）

11：20 ～ 11：40　戦間期社会教育論における宗教の位置づけ
―文部官僚は宗教に何を期待したのか?―
松岡　悠和（京都府立大学大学院）

（11：40 ～ 12：10　全体討議）

第2室　学習文化活動／学習主体

司　会　　関　直規（東洋大学）

10：00 ～ 10：20　文化継承とジェンダー：茶道文化を事例に
亀井　あかね（東北工業大学）

10：20 ～ 10：40　昭和戦前期における高等女学校同窓会主催の教育活動
―東京府内を中心に―
歌川　光一（聖路加国際大学）

10：40 ～ 11：00　保育園における親が育ち合うコミュニティ形成の過程とその条件
丸山　美貴子（北海道大学）

11：00 ～ 11：20　米軍占領下沖縄の文化政策と民俗芸能
山城　千秋（熊本大学）

（11：20 ～ 12：00　全体討議）

第3室　学習文化活動／学習方法・学習過程、学習の組織化・実践分析

司　会　　長澤　成次（放送大学）

10：00 ～ 10：20　書く実践における手紙の研究　―「ふだん記」を対象として―
川原　健太郎（作新学院大学）

10：20 ～ 11：00　「戦渦に生きる」人たちの相互交流と継承
―板橋区社会教育会館・時事問題セミナーの記録の共同分析を通して―
○佐治　真由子（川崎市役所）、○齋藤　真哉（板橋区役所）
阿知良　洋平（室蘭工業大学）

11：00 ～ 11：20　韓国農村地域における住民の学びと発信
―マウル（村）学会の出版書籍に注目して―
吉岡　亜希子（北海道文教大学）

11：20 ～ 11：40　アートの日常生活における学習的意義：美的経験と日常的経験との関連性から
蔡越先（北海道大学大学院）

（11：40 ～ 12：10　全体討論）

第4室　学習機会／施設

司　会　　生島　美和（帝京大学）

10：00 ～ 10：20　施設としての公民館の設置形態　―1950 年代の東北地方を中心に―
田所　祐史（京都府立大学）

10：20 ～ 10：40　新たな役割を担う「生涯学習プラットフォーム」の学習支援
―ラーニングシティへの期待と大学開放プログラム―
藤田　公仁子（富山大学）

10：40 ～ 11：00　大学生に対する教育活動を通じた市民の気づきと変容に関する考察
―加茂市を舞台とした教養科目の取り組みを事例として―
樋口　健（新潟大学）

11：00 ～ 11：20　1960 年代における、ホールを持つ社会教育施設の建設と地域住民の活動
―川崎市・産業文化会館を事例に―
堀本　暁洋（東京大学大学院）

11：20 ～ 11：40　英国の博物館入館料に関する探求
―コレクション形成とチャリティの観点から―
瀧端　真理子（追手門学院大学）

（11：40 ～ 12：10　全体討論）

第5室　地域・地域問題／子育て、学校・地域課題

司　会　　阿比留　久美（早稲田大学）

10：00 ～ 10：20　地方における企業の高等学校就学支援（その 1）
―若者の就学支援の教育的意義の一考察―
植村　秀人（南九州大学）

10：20 ～ 10：40　コミュニティ・スクール政策と社会教育計画
孫冬梅（東北大学大学院）

10：40 ～ 11：00　地方における「ひきこもり」問題をとりまく状況と「居場所」づくりの課題
廣森　直子（青森県立保健大学）

11：00 ～ 11：20　Community Story の再編集としての協働の成立条件
宮崎　隆志（北海道大学）

（11：20 ～ 12：00　全体討論）

プロジェクト研究

「社会教育士養成の可能性と課題」

13：00～15：30

テーマ　「社会教育士というキャリアの形成　―その養成から任採用までのプロセスを探る―」

司　会　川野　麻衣子（NPO 法人北摂こども文化協会）
久井　英輔（法政大学）

報告①　「社会教育主事講習実施機関の立場から」
石井山　竜平（東北大学）

報告②　「社会教育施設職員からみた社会教育主事講習での学びとその成果」
藤井　千夏（広島市青少年センター）

報告③　「民間指定管理者はこんな人が欲しい!社会教育士が活躍できる職場づくり」（仮）
平川　美紀（㈱アステム・大阪府大東市生涯学習施設指定管理者）

指定討論者　高木　悠子（株式会社旺栄・北区立文化センター指定管理者）
沢田　繁（上越地区社会教育主事会）

プロジェクト研究

「障害をめぐる社会教育・生涯学習」

13：00～15：30

テーマ　「障害をめぐる学びの場の今をどう捉えるか
　　―学校教育／社会福祉との関係からみた理論枠―」
司　会　松田　弥花（高知大学）
　　丸山　啓史（京都教育大学）
報告①　「就学前から就学移行期における障害児の教育と福祉の現状」
　　池田　法子（足利短期大学）
報告②　「障害をめぐる学校教育と社会福祉の制度・実践の狭間」
　　堤　英俊（都留文科大学）
報告③　「『専攻科』づくり運動に見る障害青年の教育権保障の実態」
　　國本　真吾（鳥取短期大学）

倫理研修

16：00～17：30

テーマ　本学会の研究倫理に関する今後の取り組みについて
司　会　大村　隆史（香川大学）
　　久保田　治助（鹿児島大学）
趣旨説明　　辻　智子（北海道大学）
報告①　「福祉系学会における研究倫理規程の動向」
　　辻　浩（名古屋大学）
報告②　「論文投稿にみる研究倫理に関わる現状と課題」
　　池谷　美衣子（東海大学）・髙井　正（立教大学）
鼎　談　　辻　浩　・　池谷　美衣子　・　髙井　正
　　（進行：辻　智子）

第2日目　9月11日（土）

自由研究発表 6・7・8・9・10

10：00 ～ 12：10（共同研究者は○印が登壇者）

第6室　原理論・歴史／歴史

司　会　　松田　武雄（松本大学）

10：00 ～ 10：20　文部省図書推薦政策と絵本　―戦時中の「教育」観に着目して―
森岡　伸枝（大阪芸術大学短期大学部）

10：20 ～ 10：40　敗戦直後の演劇活動　―その実態と特性―
小川　史（横浜創英大学）

10：40 ～ 11：00　旧産炭地鞍手町における「筑豊文庫」の役割と地域的意義
―上野英信の行為と実践に注目して―
農中　至（鹿児島大学）

11：00 ～ 11：20　1930 年代における青年期の「職業教育」の在り方について
―工業教育を中心とした検討―
倉知　典弘（吉備国際大学）

（11：20 ～ 12：00　全体討論）

第7室　学習文化活動／学習主体

司　会　　津田　英二（神戸大学）

10：00 ～ 10：20　学童期における権利としての遊びの本質
川野　麻衣子（NPO 法人北摂こども文化協会）

10：20 ～ 10：40　地域連携・多職種連携事業「生命学―いのちを考える―」体験学習
プログラムの探求
飯塚　哲子（東京都立大学）

10：40 ～ 11：00　重症心身障害者とともにつくる実践コミュニティの生成論理
―媒介者の機能の変化に着目して―
松井　翔惟（北海道大学大学院）

11：00 ～ 11：20　地方市町におけるビーチボールの活動と生涯スポーツの課題
笹瀬　雅史（山形大学）

（11：20 ～ 12：00　全体討論）

第8室　学習文化活動／学習方法・学習過程、学習の組織化・実践分析

司　会　　岡　幸江（九州大学）

10：00 ～ 10：20　フリースクールの話し合い実践における力関係
—言語化をめぐる葛藤に着目して—
橋本　あかね（大阪大学）

10：20 ～ 10：40　若者の「やりたいこと」の発見・追求を支援する実践の解明
—ロビーワークに着目した調査の提案—
執行　治平（東京大学大学院）

10：40 ～ 11：00　オンライン居場所支援が不登校の子どもの行動や意識の変容に及ぼす影響に関する研究
櫻井　裕子（奈良教育大学　教育連携講座）

11：00 ～ 11：20　持続可能な地域づくりにおける後継者の〈生〉と学習
○松本　大（東北大学）、安藤　耕己（山形大学）

（11：20 ～ 12：00　全体討論）

第9室　学習機会／社会教育関係団体、ボランティア・NPO・NGO

司　会　　岩槻　知也（京都女子大学）

10：00 ～ 10：20　自主夜間中学運動の生成と展開
江口　怜（和歌山信愛大学）

10：20 ～ 10：40　コロナ禍における学生支援の意義と課題の検討
—千葉大学医学部メンター制度を事例として—
小野寺　みさき（千葉大学）

10：40 ～ 11：00　全国青年問題研究大会（1955 年 2 月 18-21 日）の開催経緯とその背景
—地域青年活動における学習としての書くことと読むこと
辻　智子（北海道大学）

11：00 ～ 11：20　イギリスにおけるニート支援と教育機会
武田　るい子（清泉女学院短期大学）

11：20 ～ 11：40　NPO によるインクルーシブな学習の場の提供実態と共生社会の実現に向けた課題
記伊　実香（早稲田大学大学院）

（11：40 ～ 12：10　全体討論）

第 10 室　地域・地域問題／グローバリゼーション、現代的課題

司　会　　柴田　彩千子（東京学芸大学）

10：00 ～ 10：20　パウロ・フレイレの晩年の教育論とその可能性
酒井　佑輔（鹿児島大学）

10：20 ～ 10：40　認知症への理解促進に向けた一般市民に対する意識啓発活動の動向
―好事例に関する文献調査より―
鈴木　尚子（徳島大学）

10：40 ～ 11：00　「外国籍住民の教育ニーズ調査」法開発のための実験的 WEB 調査の検討
渡辺　幸倫（相模女子大学）

11：00 ～ 11：20　フェア・SD の本質を問う「SDGs の教育」実践研究
―繊維・アパレル産業を事例として―
岩本　泰（東海大学教養学部）

11：20 ～ 11：40　「災害」をめぐる闘い：ネパール女性の語りと社会参加の様相から
長岡　智寿子（田園調布学園大学）

（11：40 ～ 12：10　全体討論）

70 周年準備企画

13：00～15：00

司　会　　宮﨑　隆志（北海道大学）
菊池　朋子（横浜市男女共同参画推進協会）

登壇者　　田中　雅文（日本女子大学／日本社会教育学会副会長）
大高　研道（明治大学／ WG 年報総括チーム）
池谷　美衣子（東海大学／ WG 新生ジャーナルチーム）
上田　孝典（筑波大学／ WG プロジェクト研究検討チーム）

コメンテーター　　堀本　麻由子（東洋大学／学会前事務局長）
常任理事会幹事（石川敬史、土屋里穂、橋田慈子、吉田弥生）

運 営 校 企 画

「社会教育実習の学び　―明治大学の実践から―」

15：30～18：00

テーマ　「社会教育実習の学び　―明治大学の実践から―」
司　会　　小林　繁（明治大学）
報　告　　平川　景子（明治大学）
内　容　　小グループに分かれて、ラウンドテーブルで話し合います。
　　社会教育実習を履修している明治大学の学生も参加します。

第3日目　9月12日（日）

自由研究発表 11・12・13・14・15

10：00 ～ 12：10（共同研究者は○印が登壇者）

第11室　原理論・歴史／歴史

司　会　　田所　祐史（京都府立大学）

10：00 ～ 10：20　ハイランダーを支えた女性たちの活動の記録
—面接調査から明らかとなったことを中心に—
藤村　好美（獨協大学・非常勤）

10：20 ～ 10：40　学齢期保育事業実施の経緯と特質
—1942年全国要教護児童調査を手がかりとして—
亀口　まか（龍谷大学）

10：40 ～ 11：00　地域教育雑誌における「家庭教育」の模索
—1968年刊行『若い芽』を事例として—
山梨　あや（慶應義塾大学）

11：00 ～ 11：40　近現代製糸工場における勤労青年教育の展開
—長野県諏訪地域の先行研究レビューと資料紹介を中心に—
○安藤　耕己（山形大学）、○久井　英輔（法政大学）
○大蔵　真由美（松本大学）、○栗山　究（早稲田大学・非常勤）
倉知　典弘（吉備国際大学）

（11：40 ～ 12：10　全体討論）

第 12 室　学習文化活動／学習方法・学習過程、学習の組織化・実践分析

司　会　　新藤　浩伸（東京大学）

10：00 ～ 10：20　奄美大島の環境文化の創造と〈土着知〉の世代間継承に関する研究
小栗　有子（鹿児島大学）

10：20 ～ 10：40　変容の学習論と＜当事者性の邂逅＞の関係
後藤　聡美（神戸大学大学院）

10：40 ～ 11：00　地域づくりにむけた学習組織化の過程の解明
―信濃生産大学実践における農民の集団的主体形成に注目して―
木下　卓弥（北海道大学大学院）

11：00 ～ 11：20　持続可能な社会を拓く「対話」とその学習（２）
二ノ宮リムさち（東海大学）

11：20 ～ 11：40　芸術家の創造性と学習
鈴木　理仁（東北大学大学院教育学研究科）

（11：40 ～ 12：10　全体討論）

第 13 室　職員／学習支援者

司　会　　内田　光俊（岡山市役所）

10：00 ～ 10：20　安藤謙治の社会事業思想に関する一考察
昭和初期の金沢市における社会事業の展開を支えた人物について
大村　隆史（香川大学）

10：20 ～ 10：40　実践に参加する研究者の位置づけ
―地域と学校の連携・協働実践に参加する研究者の語りを事例として―
○鈴木　繁聡（東京大学大学院・日本学術振興会特別研究員）
○金亨善（東京大学大学院）、○大野　公寛（島根大学）
○丹田　桂太（福岡大学）

10：40 ～ 11：00　社会教育主事講習におけるインプロ（即興演劇）の活用：
「ファシリテーション」と「即興性」に着目して
園部　友里恵（三重大学）

11：00 ～ 11：20　社会教育職員養成・研修における防災教育の現状と課題
野元　弘幸（東京都立大学）

（11：20 ～ 12：00　全体討論）

第 14 室　政策・運動／法・行財政・教育計画

司　会　　姉崎　洋一（北海道大学名誉教授）

10：00 ～ 10：20　コロナ禍における米国の継続高等教育

五島　敦子（南山大学）

10：20 ～ 10：40　広域社会教育行政による社会教育職員の養成と研修

―アンケート調査をもとに―

村田　和子（和歌山大学）

10：40 ～ 11：00　中国におけるコミュニティ・ガバナンスと住民の学習

上田　孝典（筑波大学）

11：00 ～ 11：20　1970 年代のスウェーデンにおける高等教育改革と Social Pedagogy

松田　弥花（高知大学）

（11：20 ～ 12：00　全体討論）

第 15 室　地域・地域問題／子育て、学校・地域課題

司　会　　新保　敦子（早稲田大学）

10：00 ～ 10：20　不登校研究にみる「親・家庭原因説」の起源

―ジェンダー視点からの考察―

赤池　紀子（早稲田大学大学院）

10：20 ～ 10：40　中国農村における留守児童問題解決に向けた住民ネットワークの形成

―四川省青神県を事例として―

キギョウコウ（北海道大学大学院）

10：40 ～ 11：00　生活困窮世帯の親子に対する公立図書館と保健福祉の複合的支援の可能性

櫻　幸恵（岩手県立大学）

11：00 ～ 11：20　支援の重層性をめぐる課題整理

―子ども・若者支援、生涯学習支援に関わって―

生田　周二（奈良教育大学）

11：20 ～ 11：40　沖縄の地域社会における子どもの教育福祉機能

―「子どもの居場所」への集落公民館の関わりに着目して―

入江　優子（東京学芸大学）

（11：40 ～ 12：10　全体討論）

プロジェクト研究

「高齢社会と社会教育」

13：00～15：30

テーマ　「高齢社会における社会教育の展望」

司　会　齊藤　ゆか（神奈川大学）

堀本　麻由子（東洋大学）

報告①「社会教育と高齢者学習支援をめぐる問題：3 年間のプロジェクト研究をふまえて」

堀　薫夫（大阪教育大学・名誉教授）

報告②「地域づくりと地域福祉における高齢者への学習支援：

関連領域からの学習が注目されるなかで」

辻　浩（名古屋大学）

報告③「高齢者の社会参加に関する政策的動向の批判的考察」

高橋　満（放送大学宮城学習センター）

コメンテーター　久保田　治助（鹿児島大学）

プロジェクト研究

「SDGsと社会教育・生涯学習 ―持続可能な地域と学びづくり―」

13：00～15：30

テーマ　「自立的な地域づくりにみる SDGs の理念」

司　会　岩本　泰（東海大学）

近藤　牧子（早稲田大学・非常勤）

報告①「『ゆんたく』からはじめる、はじまる、地域／社会づくりと社会教育」

南　信之介（那覇市繁多川公民館）

報告②「やんばるの地域課題と向き合う大人の学び

―学び続ける組織体と学習のあり方の追求」

大島　順子（琉球大学）

コメンテーター　末本　誠（湊川短期大学）

荻野　亮吾（佐賀大学）

ラウンドテーブル

16：00～18：00

ラウンドテーブル①

テーマ　「自由大学 100 周年への誘い」

コーディネーター　大槻　宏樹（早稲田大学・名誉教授）
古市　将樹（常葉大学）

報　告　大槻　宏樹（早稲田大学・名誉教授）
古市　将樹（常葉大学）

ラウンドテーブル②

テーマ「第 7 回国際成人教育会議（CONFINTEA Ⅶ）に向けて」

コーディネーター　湯本　浩之（宇都宮大学）

報　告　近藤　牧子（早稲田大学・非常勤）
大安　喜一（東京医療保健大学）
三宅　隆史（シャンティ国際ボランティア会）

ラウンドテーブル③

テーマ　「社会教育法 70 年と社会教育法制をめぐる課題（その 4）
－博物館法改正をめぐって（その 2）」

コーディネーター　長澤　成次（放送大学千葉学習センター）
姉崎　洋一（北海道大学・名誉教授）
栗山　究（早稲田大学・非常勤）
金子　淳（桜美林大学）
青木　加苗（和歌山県立近代美術館）

報　告　新藤　浩伸（東京大学）
生島　美和（帝京大学）
持田　誠（浦幌町立博物館）

ラウンドテーブル④

テーマ 「社会運動と自己形成－社会運動の参加者の語りから―」

コーディネーター　久保田　治助（鹿児島大学）
　　古里　貴士（東海大学）
報　告　伊藤　三男（四日市再生公害市民塾）
　　藤本　寿子（有限会社ガイヤみなまた）
　　葛西　伸夫（水俣病センター相思社）

ラウンドテーブル⑤

テーマ 「感染症と社会教育　新型コロナの検証と今後の対応を考える②」

コーディネーター　石山　雄貴（鳥取大学）
　　田開　寛太郎（松本大学）
　　朝岡　幸彦（東京農工大学）
司　会　岩松　真紀（明治大学・非常勤）
報　告　平岡　和久（立命館大学）
　　岡　幸江（九州大学）

ラウンドテーブル⑥

テーマ 「『ジェンダーと社会教育』の再検討（その 1）－慈善活動・ボランティア活動と女性」

コーディネーター　亀口　まか（龍谷大学）
　　辻　智子（北海道大学）
　　冨永　貴公（都留文科大学）
　　矢内　琴江（福井大学）
司　会　辻　智子（北海道大学）
報　告　亀口　まか（龍谷大学）
　　猪瀬　優里（龍谷大学）
コメンテーター　辻　智子（北海道大学）

ラウンドテーブル⑦

テーマ 「子ども・若者支援に携わる専門職の力量形成と研修等のあり方」

コーディネーター　水野　篤夫（京都市ユースサービス協会）
　　宮崎　隆志（北海道大学）
報　告　川野　麻衣子（北摂子ども文化協会）
　　井上　大樹（札幌学院大学）
　　竹田　明子（京都市ユースサービス協会）

川崎市子どもの権利条例
施行20周年記念出版

今だから明かす
条例制定秘話

編集　かわさき子どもの権利フォーラム
発行協力　川崎教育文化研究所

「川崎市子どもの権利条例」施行から20年。子どもたちがなぜ条例制定に関わり、どのように「権利＝わがまま論」と対峙したのか。今だから明かせる誕生秘話が満載。自治体関係者や「子どもの権利」に関心をもつすべての方必見の書。

Contents

Ⅰ　子どもと語る子どもの権利条例制定秘話
Ⅱ　子ども夢パーク・フリースペースえんの誕生秘話
Ⅲ　全国初の子どもの権利条例はなぜ生まれたのか
Ⅳ　子どもの権利と支援の仕組みはどう創られたのか

好評発売中

A5判 並製・154ページ
定価1,540円(本体1,400円+税10%)
2021年6月刊行
ISBN 978-4-87168-667-9

エイデル研究所　〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9
TEL. 03-3234-4641　FAX. 03-3234-4644　http://www.eidell.co.jp

学校学力から生涯学力へ 変化の時代を生きる
●前田耕司・佐藤千津編著　定価1870円

テキスト生涯学習 【新訂2版】 学びがつむぐ新しい社会
●田中雅文・坂口緑・柴田彩千子・宮地孝宜 著　定価1980円

社会教育経営の基礎
●山本珠美・熊谷愼之輔・松橋義樹 編著　定価2750円

近代日本の大学拡張 「開かれた大学」への挑戦
●山本珠美 著　定価9240円

地域学校協働のデザインとマネジメント
コミュニティ・スクールと地域学校協働本部による学びあい・育ちあい
●熊谷愼之輔・志々田まなみ・佐々木保孝・天野かおり著　定価1760円

近代日本の生活改善運動と〈中流〉の変容
社会教育の対象／主体への認識をめぐる歴史的考察
●久井英輔 著　定価8250円

SDGsカリキュラムの創造
ESDから広がる持続可能な未来
●田中治彦・奈須正裕・藤原孝章 編著　定価2200円

大学生が本気で考える子どもの放課後
弘前大学生の地域参加とプレイワーク実践
●深作拓郎・岸本麻依 編集代表
弘前大学学生・教員研究会らぶちる—Love for Children 著　定価1870円

日本と韓国における多文化教育の比較研究
学校教育,社会教育および地域社会における取り組みの比較を通して
●呉世蓮 著　定価3850円

講座　転形期の社会教育 シリーズ　編集代表 鈴木眞理

Ⅰ **社会教育の基礎** —転形期の社会教育を考える　定価2750円
Ⅱ **社会教育の連携論** —社会教育の固有性と連携を考える　定価2530円
Ⅲ **社会教育の施設論** —社会教育の空間的展開を考える　定価2530円
Ⅳ **社会教育の学習論** —社会教育がめざす人間像を考える　定価2530円
Ⅴ **社会教育の公共性論** —社会教育の制度設計と評価を考える　定価2530円
Ⅵ **社会教育・生涯学習研究のすすめ** —社会教育の研究を考える　定価2750円

「ESDでひらく未来」シリーズ

社会教育・生涯学習論 すべての人が「学ぶ」ために必要なこと
●鈴木敏正・朝岡幸彦 編著　定価2090円

持続可能な未来のための教育制度論
●小玉敏也・鈴木敏正・降旗信一 編著　定価2530円

教育の課程と方法 持続可能で包容的な未来のために
●鈴木敏正・降旗信一 編著　定価2530円

持続可能な地域と学校のための学習社会文化論
●降旗信一 編著　定価2090円

SDGsとまちづくり 持続可能な地域と学びづくり
●田中治彦・枝廣淳子・久保田崇 編著　定価3300円

SDGs時代のパートナーシップ
成熟したシェア社会における力を持ち寄る協働へを
●佐藤真久・関正雄・川北秀人 編著　定価3300円

教育老年学と高齢者学習
●堀薫夫 編著　定価3080円

〒153-0064　東京都目黒区下目黒３－６－１
http://www.gakubunsha.com
学文社
Tel 03-3715-1501(代)　Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

日本社会教育学会　第 68 回研究大会プログラム

2021 年 7 月 29 日発行

【発行】日本社会教育学会事務局

〒 183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学農学部環境教育学研究室気付

E-mail：jssace.office@gmail.com　　https://www.jssace.jp/

【会費等納入先】

ゆうちょ銀行　振替口座００１５０―1―８７７７３（口座名：日本社会教育学会）

他金融機関からの振込用口座番号　〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）当座 0087773